

公社等外郭団体の改革方針（案）

団体名	(財)千葉県勝浦海中公園センター		所管所属名	商工労働部観光課	
事業内容	南房総国定公園勝浦海中公園内のレクリエーション・教養文化施設の管理運営、利用者の誘致及び宣伝、公園保護のための調査研究及び自然保護思想の啓蒙など				
財務状況	年度（単位：千円）		H18	H19	H20
	貸借対照表	総資産	719,182	704,167	677,555
		負債	133,770	124,264	112,904
		資本	585,412	579,903	564,651
		累積損益	550,412	544,903	529,651
	損益計算書	総収入	134,473	121,517	114,911
		経常損益	6,089	5,645	14,749
		当期損益	6,318	5,508	15,253
		減価償却前当期損益	544,092	550,410	544,902
		借入金残高	0	0	0
	県財政支出	委託料	12,134	12,134	12,134
		補助金・負担金	0	0	0
		その他	0	0	0
	県関与の必要性	団体の必要性			
<p>（団体の必要性）</p> <p>本センターは南房総国定公園勝浦海中公園の主要な拠点である海中展望塔を所有し、管理運営しているとともに、指定管理者（21年度～23年度までの3ヵ年）として勝浦海中公園の管理運営を受託し、隣接する「千葉県立中央博物館分館海の博物館」の立体駐車場使用料徴収業務を受託するなど県の観光振興施策や自然保護施策に密接に係る事業を行っていることから引き続き団体としての必要性がある。</p> <hr/> <p>（県関与（人的・財政的）の必要性）</p> <p>本センターは県の観光振興施策や自然保護施策に密接に係る事業を行っていることから、引き続き常務理事（所長）として県職員を派遣し、センターの円滑な業務運営を図るために県職員としての知識・経験を生かし、理事会の決定に関する全般業務や庶務関係の総括業務を行わせることは必要である。</p>					
過去の見直し方針	分類	関与縮小			
	県職員の派遣縮小				
現在までの取組状況	平成15年度までは、常務理事（所長）及び庶務次長として、県職員を2名派遣していたところであるが、職員の意識を高め、業務の効率化を図ることで組織をスリム化し、平成16年度からは県からの派遣職員は常務理事（所長）1名とした。				

役職員の状況	常勤役員 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>1名</td></tr> <tr><td>21</td><td>1名</td></tr> </table> うち県OB <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>0名</td></tr> <tr><td>21</td><td>0名</td></tr> </table> うち県派遣 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>1名</td></tr> <tr><td>21</td><td>1名</td></tr> </table>	14	1名	21	1名	14	0名	21	0名	14	1名	21	1名	常勤職員 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>8名</td></tr> <tr><td>21</td><td>4名</td></tr> </table> うち県OB <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>0名</td></tr> <tr><td>21</td><td>0名</td></tr> </table> うち県派遣 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>14</td><td>1名</td></tr> <tr><td>21</td><td>0名</td></tr> </table>	14	8名	21	4名	14	0名	21	0名	14	1名	21	0名
14	1名																									
21	1名																									
14	0名																									
21	0名																									
14	1名																									
21	1名																									
14	8名																									
21	4名																									
14	0名																									
21	0名																									
14	1名																									
21	0名																									
課題	<p>1 経営改善</p> <p>海中展望塔への入込客数の減少に伴う売上高の減少や施設の老朽化に伴う維持補修に係る費用の増加により本センターの経常損益が悪化しており、平成 19 年度、平成 20 年度と 2 年連続で赤字となるなど、引き続き経営状況の改善が必要な状況である。</p> <p>(1) 海中展望塔への入込客数の減少について</p> <p>海中展望塔の入込客数については、平成 13 年度に初めて 20 万人を切り、平成 15 年度以降減少が続いており、毎年度、昭和 55 年度の開業以来の過去最低の入込客数を記録している。(入込客数の減少に伴い、海中展望塔に係る売上高も減少傾向となっており、平成 20 年度には初めて 1 億円を割った。)</p> <p>(2) 施設の老朽化について</p> <p>海中展望塔に係る施設は昭和 55 年度の開業以来、30 年を経過しており老朽化が進んでいるため、修繕に係る費用が増加する傾向にある。今後、大規模な修繕が必要となることが考えられる。</p> <p>2 新公益法人制度への移行</p> <p>平成 20 年 12 月 1 日に施行された新公益法人制度の下、平成 25 年 11 月 30 日までに新法人へ移行する必要がある。</p>																									
今後の改革方針(案)	分類	経営改善																								
	<p>1 経営計画に基づく経営改善</p> <p>本センターにおいては、現在、(財)千葉県勝浦海中公園センター経営計画(3 年(H19 年度～H21 年度))を策定し、経営改善に取り組んでいるところであるが、平成 21 年度中に平成 22 年度以降の経営計画(3 年)を策定し、引き続き経営改善への取組を継続するよう指導するなど、効率的な運営を指導していく。</p> <p>次期経営計画では、本センターと千葉県立中央博物館分館海の博物館との連絡会議を通じて、海の博物館との連携を強化し、海中展望塔内において博物館職員による魚の説明を行うなどの取組により入場者数の増加、売上の増加を目指すこととする。</p> <p>2 新公益法人制度への移行</p> <p>本センターの新法人への移行に向けた検討において、他の出資者である勝浦市・新勝浦市漁業協同組合と連携し、今後の本センターのあり方についても必要な助言等を行う。</p>																									